



2026年1月20日

各位

会社名 株式会社 島根銀行  
代表者名 取締役頭取 長岡 一彦  
(コード番号 7150 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員人事財務グループ部長 佐野 克巳  
(TEL 0852-24-1238)

## 有価証券の売却及び貸出債権の流動化に関するお知らせ

当行は、本日開催の取締役会において、当行の保有する有価証券の一部の売却及び、貸出債権の流動化を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 今回決議事項の目的

当行は、2025年4月からスタートした中期経営計画「ふるさと山陰活性化プロジェクト！～ローカルエンゲージメントの向上を目指します～ リージョナルバンクしまぎん」において、「財務の健全化」及び「お客さまとの共通価値創造（ローカルエンゲージメント）」を戦略ドメインとして各種施策を推し進めております。

当行の経営において対処すべき重要課題と認識する有価証券評価損益の対応については、中期経営計画の最終年度である2028年3月期までに当該評価損を13億円縮減することを数値目標（KGI）として掲げ、適宜、金利動向を含む市場環境の見通しや有価証券ポートフォリオの状況のモニタリング等を通じたリスク管理の強化等により、財務の健全化に取り組んでおります。その一環として、有価証券評価損の実現による財務健全化を図るため、有価証券の売却（ロスカット）を行うことを決定いたしました。

また、資金調達基盤の拡大、ALM管理、信用リスク管理といった総合的な効果を勘案し、貸出債権の流動化を併せて実施することを決定いたしました。当該取引により貸出債権譲渡益が計上される予定です。

両取引により調達した資金を地域の取引先へ積極的に供給することで当行の収益を強化し、お客さまとの共通価値創造（ローカルエンゲージメント）を図るものであります。

### 2. 有価証券売却の概要

有価証券売却金額	4,800百万円（予定）
売却損計上額	800百万円（見込み）
売却日	2026年1月～2026年3月（予定）

### 3. 債権流動化の概要

流動化金額	27,200百万円（予定）
譲渡益計上額	900百万円（見込み）
流動化実施日	2026年1月27日（予定）

### 4. 今後の見通し

本件実施により、2026年3月期（通期）において800百万円の有価証券売却損と900百万円の貸出債権譲渡益を計上する見込みとなります。計上される有価証券売却損と貸出債権譲渡益は同程度の規模となる見込みであることから、2025年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以上